

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツとまなびのひろばSAIYO 池田校		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 9日		2025年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 9日		2025年 4月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーション	連絡帳や面談を通じて、しっかりコミュニケーションをとるの はもちろん、送迎時などの会話でも日々の情報共有を行っている	参観日、夏祭り、毎月の誕生日会など、保護者参加の機会を 設け、スタッフと保護者のコミュニケーション機会を増やす とともに、保護者間での交流の機会も充実を計っている
2	スタッフ間での支援内容の共有、役割分担	毎日丁寧に支援内容や、役割分担に関して、ミーティングを行 い、必要に応じて子どもたちのコンディション、留意点に関し てもスタッフ全員が共有した上で療育にのぞめている	日々の療育の内容の決定や振り返りを通し、日々改善してい ける環境を継続していく。
3	風通しの良い組織風土	職員の見解等を風通し良く汲み上げる風土があり、形式化され た面談・アンケートだけではなく、日常から意見が言いやすい 雰囲気を作れている。 重要な事案があれば全員で共有し、その場になかったスタッ プにもしっかり共有されている	今後も風通しの良い組織風土は大切にしていきたい、子ども の支援に関わる話し合いなどでは新しく入った職員でも意見 が言いやすい会議の運営を心掛ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースの狭さ	物理的なスペース	机や椅子をデッドスペースに移動させるなどして、運動ス ペースを確保し、子ども達が過ごす中で安全を第一に工夫し ていく
2	プライベートスペースの確保	物理的なスペース	パーティションやホワイトボードでの間仕切り、部屋外で会 話するなど工夫している
3	地域との連携		夏祭りを機会として、地域の方々との連携を大切にしてい きたい。その他にも機会があれば、検討していきたい。